※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)理科基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・特に問題演習は自分の頭で考えることが重要です。難しい問題でも、ただ答え合わせを待つのではなく、自分自身で一度しっかりと考え、できるだけ授業時間内に理解できるよう努めましょう。また、自分の理解していること、理解できていないことを明らかにし、分からないところは教員や周りの友人に聞きましょう。
・探究活動では、自分の「なぜだろう」という疑問に思う気持ちを大切にし、疑問を解決するためにはどのような情報が必要か、何をすべきかを考えましょう。

2　学習の到達目標

・基本的な概念や原理・法則を理解し、事象を科学的に捉え、考えを自分の言葉で表現することができる。
・科学的に探究しようとする態度、粘り強く考え、根拠に基づいて判断しようとする態度を身に着ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題演習に必要な知識や、問題解決につながる技法を習得している。	問題演習を通して、より深い化学的な思考や判断、および表現の技法を身に着けている。	問題を解決する過程での気付きや疑問を大切にし、それを協力し合いながら解決する力を身に着けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	化学基礎	酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤の反応 ③酸化還元の量的関係 ④金属のイオン化傾向 ⑤電池 −酸化還元反応の利用− ⑥金属の精錬 ⑦電気分解	a: ・酸化・還元の定義を理解し，知識を身に付けている。 ・酸化還元反応を酸化数の増減によって判断することができる。 ・酸化剤，還元剤のはたらきを理解し，半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てることができる。 ・酸化還元反応の量的関係を理解している。 ・金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し，知識を身に付けている。	定期考査	定期考査 演習	提出ノート 課題

※令和４年度以降入学生用

			・酸化還元反応の利用例として，電池や電気分解などがあることを理解し，電池の構成などの基本的な知識を身に付けている。 b: ・ 代表的な酸化剤・還元剤の観察から電子の授受としての規則性を見いだし，自らの考えで表現できる。 ・ 観察，実験を通して，酸化・還元の定義と，酸化数の定義の有効性を理解し，それらをもとに事物・現象の中に共通性を見出し，酸化還元反応として論理的に考察できる。 c: ・燃焼，金属の溶解や腐食などの反応に興味をもち，電子の授受という観点から，それらを意欲的に探究しようとする。 ・酸化還元反応の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとする。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い，意欲的に探究しようとする			
	生物基礎	1．植生と遷移 (1) 環境 (2) 植生の遷移 (3) 遷移とバイオーム (4) 日本のバイオーム	a: 生物や生命現象、環境などについて、基本的な概念や原理、共通性・多様性を理解し、知識を身に付けているか。 b: 生物や生命現象、環境などに問題を見い出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。 c: 日常生活や社会とのかかわりを考えながら、生物や生命現象、環境問題などについて関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。	定期考査	定期考査 演習	提出ノート 課題

※令和４年度以降入学生用

2	生物基礎	1. 生態系と生物の多様性 (1) 生態系における生物どうしのつながり (2) 種多様性と生物間の関係 2. 生態系のバランスと保全 (1) 生態系のバランスと変動 (2) 生態系の保全	a: 生物や生命現象、環境などについて、基本的な概念や原理、共通性・多様性を理解し、知識を身に付けているか。 b: 生物や生命現象、環境などに問題を見い出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。 c: 日常生活や社会とのかかわりを考えながら、生物や生命現象、環境問題などについて関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。	定期考査	定期考査 演習	提出ノート 課題
	生物基礎・化学基礎	生物基礎、 化学基礎の演習問題	a: 問題演習に必要な知識や、問題解決につながる技法を習得している。 b: 問題演習を通して、より深い化学的な思考や判断、および表現の技法を身に着けている。 c: 問題を解決する過程での気付きや疑問を大切にし、それを協力し合いながら解決する力を身に着けている。	定期考査	定期考査 演習	提出ノート 課題
3	探究活動	理科の探究的な活動	a: 課題研究に必要な知識や、問題解決につながる技法を習得している。 b: 探究活動を通して、より深い化学的な思考や判断、および表現の技法を身に着けている。 c: 問題を解決する過程での気付きや疑問を大切にし、根拠に基づいて協力し合いながら解決する力を身に着けている。	実験 授業プリント	実験 授業プリント	実験 提出ノート 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度